

飲食店のシフト作成を劇的に

シフト作成は、飲食店にとっては欠くことのできない重要な業務であるにもかかわらず、

効率化する新サービス「Airシフト」

効率化はほとんど進んでいないのが現状だ。2018年春、こうした状況を打開できる新サービス「Airシフト」が登場した。

作業時間を
70%以上
削減した事例も

シフトサイクルに合わせて
見ることができる
『表示期間切替え機能』

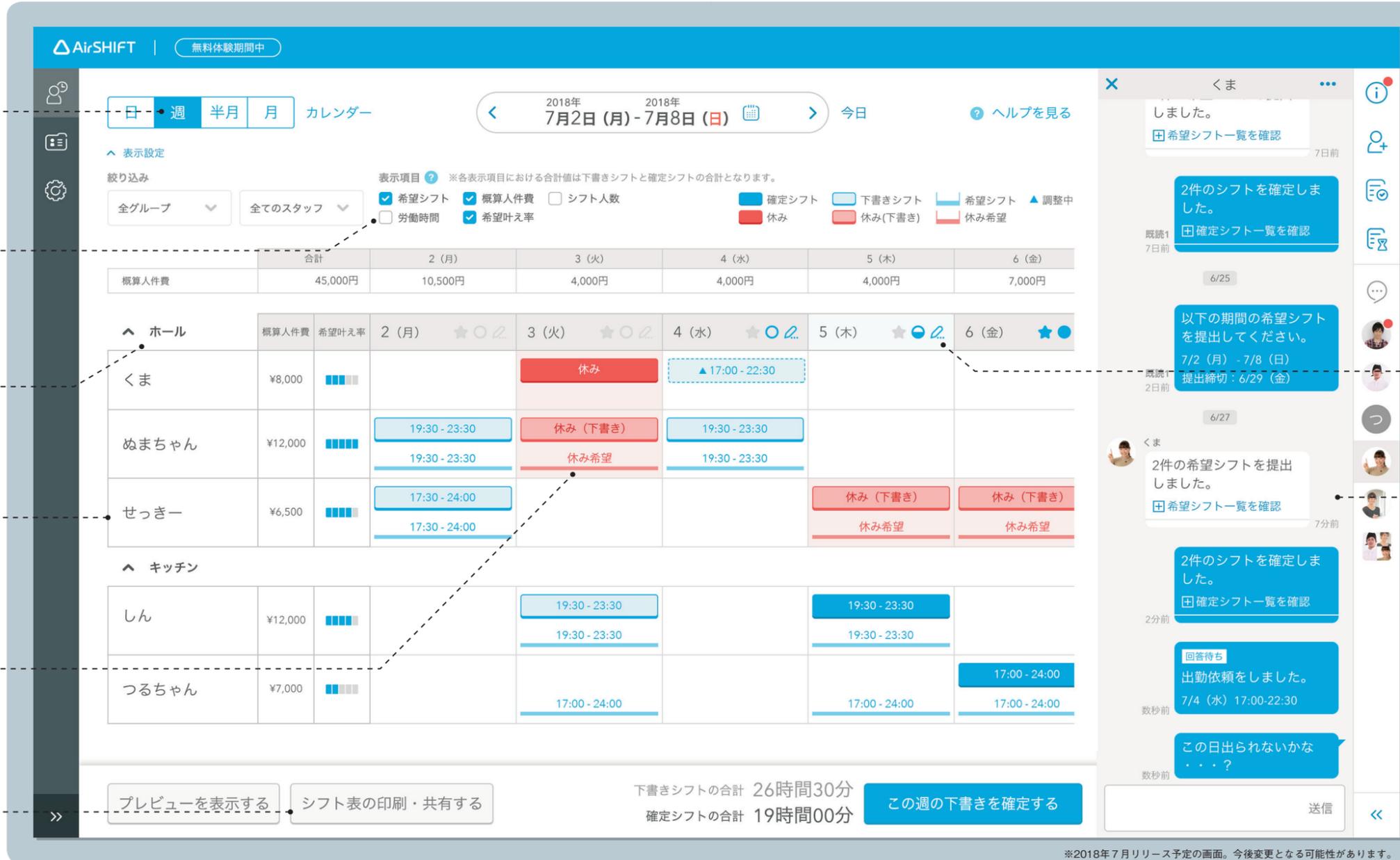
概算人件費や
労働時間などを見ながら
シフト作成できる
『集計表示機能』

ホール/キッチンなどを
分けられる
『グループ別表示機能』

いつもの呼び名で
見ることができる
『ニックネーム機能』

勤務だけでなく
休みの希望も集められる
『一括収集・自動反映機能』

確定したシフトが
カンタンに共有できる
『印刷表示・即時共有機能』



合計	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	
概算人件費	45,000円	10,500円	4,000円	4,000円	4,000円	7,000円

グループ	名前	概算人件費	希望叶え率	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)
ホール	くま	¥8,000	■■■■		休み	▲ 17:00 - 22:30		
	ぬまちゃん	¥12,000	■■■■	19:30 - 23:30	休み (下書き)	19:30 - 23:30		
	せっきー	¥6,500	■■■■	17:30 - 24:00	休み希望	17:30 - 24:00	休み (下書き)	休み (下書き)
キッチン	しん	¥12,000	■■■■		19:30 - 23:30	19:30 - 23:30	19:30 - 23:30	
	つるちゃん	¥7,000	■■■■		17:00 - 24:00	17:00 - 24:00	17:00 - 24:00	17:00 - 24:00

2018年春、飲食店のシフト作成を効率化する新サービス「Airシフト」がリリースされた。「Airシフト」をはじめとした業務支援ソリューション「Airシリーズ」の新たなサービスである。店長が毎月シフト作成にかかる時間は平均で15時間という調査結果もある。売上げに直結しない業務のため、サービスの導入をためらう経営者も多いが、この業務を効率化し、時間を大幅に短縮できることのメリットは大きい。実

特別な予定や
忙しさが一目でわかる
『マーク・メモ機能』

スタッフとスムーズに
やりとりできる
『チャット機能』

1 集めた希望シフトの
一覧化作業が不要に
シフト管理アプリの「シフトボード」をスマホにダウンロードしたスタッフは、勤務・休みの希望をアプリからいつでもカンタンに提出できる。LINEやメール、電話などでバラバラに実施していた際、サービスの活用により、4時間かかっていた作業を40分に短縮した事例もある。Airシフトの機能をご紹介します。

クラウドサービスにより
新機能も続々追加
Airシフトを利用する際、店舗側はインターネット環境のあるPCとブラウザ利用が基本となる。バージョンアップはクラウドサービスにより自動で実行される。クリックひとつで大枠のシフトが自動生成できる「シフト作成アシスト機能」などの新機能が、随時無償で追加される。AIによる機械学習に基づき、Airシフトを使い続けるほど、店舗ごとに最適なシフトのアシストができる機能だ。

4 決まったシフトは手間を
かけず即座に共有
LINEやメール、電話などで調整した結果の転記・反映も不要となる。シフト調整の際に発生するコミュニケーションは、店長とスタッフ双方にとって面倒な仕事であり、ストレスもかかる。それらをやりとりをAirシフトに統一してシフト表に自動反映すれば、コミュニケーション負担は軽減され、その時間を店舗のクオリティアップに活用することができる。

3 シフト調整は
チャットでスムーズに
Airシフト導入の大きなメリットのひとつが、最も手間のかかるシフトの調整を大幅に効率化できる点だ。人数が不足している日時への出勤依頼、人員が多すぎる際の時間変更依頼、スタッフからの承諾などをチャットに集約できる。

2 シフト作成に必要な
情報が一目でわかる
シフト作成では、あらかじめAirシフトに時間帯ごとの必要人数を設定しておくことで、シフト希望数との過不足を確認しながら、効率よくシフト作成ができる。またホール/キッチン、ランチ/ディナーなどのグループに分けて一覧化できるので、スキルに合った適切な配置をカンタンかつ確実に実現できる。シフト表の表示は、日/週/半月/2週/月単位で切り替えられるので、各店舗のシフトサイクルに合わせて作業することが可能だ。また、大きな地域イベントや大きい団体予約がある日には、メモを自由に記載できるため、事前に忙しいなると予測できる日をマークしたり、その内容をメモすることで漏れや間違いのないシフト表の作成ができる。

シフト収集が1本化でき、スタッフからの希望がシフト表に自動で一括表示される。スタッフから送られてくる文章は、日にちと曜日が一致していないといった書き間違いが少なくないが、Airシフトではシフト表への転記間違いなどを含めた単純なミスを防ぐことができる。また、提出を忘れたスタッフには自動リマインド機能が通知が行われるため、面倒な催促の負担がなくなる。

300万ダウンロード超えのアルバイト管理アプリ

「シフトボード」と連携でスタッフも嬉しい

Application

QRコードの読み取りで すぐにAirシフトと連携可能に

「シフトボード」は、アルバイトスタッフが自分でシフト管理、給与計算、税金・保険料などのチェックができる無料アプリ。15～34歳のアルバイト・パートの約半数が使っているという人気のアプリだ。* Airシフトで発行される店舗専用のQRコードを読み込み、Airシフトと連携するだけで、スタッフが使い慣れたシフトボードから店舗へのシフト提出などの機能が利用可能になる。

*2017年3月総務省統計局労働力調査を参考、本アプリユーザー6000人のデータをもとに算出



How to use

1. シフトボードアプリをダウンロードし、アカウントを登録
2. 店舗側から Air シフト連携用 QR コードをもらい、読み込んで連携



シフトボードなら、希望シフトの提出もカンタンにできる。また、チャットのやりとりもできるので、確実かつストレスのないコミュニケーションをとることが可能だ。アルバイトスタッフ側にとっても使いやすくストレスのないサービスとなっている。



リクルート
ライフスタイル
Airシフト
サービス責任者
沓水佑樹氏

Airシフトのサービス責任者である沓水佑樹(くつみずゆうき)氏は、3000店を超える飲食店のヒアリングや飲食店の店長会議への出席を実施しながら、Airシフトの開発にあたった。Airシフトの特徴を次のように語る。

「開発に際して重視したのは、まず現場の皆さんに抵抗なく使っていただけること。Airシフトはスタッフとのやりとりとシフト作成機能が一体化しており、従来の面倒なコミュニケーションからも開放されます。店舗側の業務効率の大幅な向上だけではなく、スタッフにも喜んでもらえるという点も重要だと思います。Airシフトの開発過程では、『以前シフト管理ソフトを導入してみたが、結局使いこなせなかった』という声を多くお聞きしました。そこでAirシフトでは、マニュアルを読み込まなくても、すぐに使い始められるインターフェースに重点を置きました。また、しっかりとしたサポート体制を整えておりますので、ITについての専門知識がない店舗でも、無理なく導入していただけたらと思います」

現在、無料キャンペーンを実施中。Airシフトを通して、シフト表の作成の効率化によるメリットを、ぜひ体験してほしい。

安心のサポート体制

アカウント登録後は、店長・スタッフそれぞれに、わかりやすい紙のマニュアルが送付される。平日10時～19時の専用ヘルプデスクが開設されており、操作に困ったときには気軽に相談ができる体制がとられている。

リクルートは、「Airシフト」以外にも「Airシリーズ」として、無料POSレジアプリ「Airレジ」、予約管理システム「Airリザーブ」、順番管理アプリ「Airウェイト」など、飲食店運営に役立つサービスを提供している。